

Back Number

本論文は

世界経済評論 2024 年 5/6 月号

(2024 年 5 月発行)

掲載の記事です



世界経済評論

定期購読のご案内

年間購読料

1,320円×6冊=7,920円

6,600円

税込

17%
送料無料
OFF



富士山マガジンサービス限定特典

※通巻682号以降

定期購読
期間中

デジタル版バックナンバー読み放題!!



世界経済評論 定期購読



0120-223-223

[24時間・年中無休]

お支払い方法

Webでお申込みの場合はクレジットカード・銀行振込・コンビニ払いからお選びいただけます。
お電話でお申込みの場合は銀行振込・コンビニ払いのみとなります。

Fujisan.co.jp

雑誌のオンライン販売

製造業の DX を阻む壁を 乗り越えろ！

：事例に学ぶ 10 のヒント

国際貿易投資研究所客員研究員 朽木 昭文



【編著】（一財）企業活力研究所

【発行】日刊工業新聞社，2023 年 12 月

【判型】A5 判，192 頁

【定価】本体 1500 円＋税

日本に 30 年の停滞から脱出する絶好機が来た。つまり，IoT デバイスの大量普及，クラウドと超高速情報ネットワークの広がり，Chat GPT などの人工知能での技術革新である。DX（デジタルトランスフォーメーション）が必要になった。DX とはデータとデジタルを有効に活用できる企業に変わることである。

本書は主張する。DX は，天才的な経営者もエンジニアも必要なく，企業の「基盤づくり」により可能となる。

1. 本書の展開

「製造業の DX を阻む 4 つの壁」は，「データ活用」，「企業内の組織・体制」，企業間の体制，外部環境である。本書は，第 2 の「企業内組織・体制」では，「DX が自社の経営にどの

ように役立つかわからない，DX に対する不安感や不信感が強い，現場がデータやデジタル技術を使いこなせない，取り組みが会社全体に広がらない」という壁を挙げる。

2. 4 つの壁を乗り越える

4 つの壁を超えるためのステップとして，①「好循環の内的メカニズム」の確立により②「組織学習プロセス」を形成する。そして，企業の③「基盤づくり」ができればよい。

①「好循環の内的メカニズム」の 10 のヒントとは

第 1 に，開始・実施する際には，『スモール・スタート，業務全体のチャート書き起こし，課題の可視化・評価分析に必要となるデータの実測，外部パートナーとの協働関係の構築』の 4 つが必要である。

第 2 に，定着・進展させる際には，『情報発信，見える化，人材の配置転換，業務管理データの社内共有，CO₂ 排出量データの把握への取り組みへの連携，現場作業とデジタル活用との橋渡しできる人材の育成』の 6 つである。こうして次に進む。

②「組織学習プロセス」とは

第 1 の「データ活用」の壁を乗り越えるために必要なプロセスは，「データをつなぐ下準備をする，データを物理的につなぐ，データを意味的につなぐ，共感的エコシステムを構築する」である。第 2 の「企業内組織・体制」壁を乗り越えるために必要なプロセスは，企業内の試行錯誤と企業間の試行錯誤についてそれぞれ「問題発見，問題共有，課題設定・解決」である。

こうして，②組織学習プロセスを形成することにより「企業の③基盤づくり」が完成する。

3. 本書の活用こそ日本に残された道

本書の 10 のヒントは，実際の製造業の成功事例から帰納した。日本が 30 年の停滞から脱出するヒントであると評者は確信する。

（くちき あきふみ）